

琴平町立 南幼稚園

子どもに身につけさせたい「5つの力」

琴平町は、香川県のほぼ中央に位置し、全国的に有名な「こんぴらさん」(金刀比羅宮)があり、多くの観光客で賑わっています。琴平町立南幼稚園では、隣接している香川県立琴平高等学校をはじめ、琴平町立の小学校などと、互いの活動への理解を深めるため「異校種間交流」をしています。

幼稚園の概要

■ 名称	琴平町立南幼稚園
■ 所在地	香川県仲多度郡琴平町102-1
■ 園児数・職員数	園児数:21名 職員数:4名
■ 代表者	園長 久保 恭子
■ 電話	0877-73-2521

南幼稚園



香川県

食育活動の概要

活動の動機・目的

琴平町出身の料理研究家 塩田弘子さんが作詞した「たべものワルツ」を基に、平成17年から食育に取り組み始めました。子どもの頃からバランスの摂れた食生活は重要であり、平成18年度に、「食育」をテーマに研究発表を行った以降、「赤(血や肉をつくる:魚、肉、卵、豆類、乳)・黄(力や体温となる:穀類、砂糖、油脂、いも類)・緑(体の調子を良くする:野菜、海草、きのこ)」の3種類の栄養素の食事を毎日ちゃんと正しく摂りましょうと、取組を続けています。

※「たべものワルツ」・・・食品の栄養分類などを歌詞に盛り込み、子どもにも親しみやすい楽曲

世界保健機関日本財団認定曲

活動の紹介

当園では、子どもに身につけさせたい「5つの力」として、①食べ物を選ぶ力、②元気な体がわかる力、③食べ物の命を感じる力、④料理する力、⑤味がわかる力、を育てたいと思っています。入園後、生活習慣に関するアンケート調査を実施し、家庭での食事や生活習慣について把握した上で、給食時に指導をしており、併せて「早寝・早起き・朝ごはん」運動の啓発もしています。

琴平高校とは、平成14年度から「異校種間交流」を年間5~6回行っています。琴平高校の体育祭に園児が参加するほか、年に3回程度、将来保育士などを目指している高校生による、保育実習を行っています。平成22年度からは、保育実習とは違った交流方法として、“おにぎりパーティー”を実施しています。園庭の梅の木に実った梅で高校生が梅干しを作り、その梅干しを使い高校生と一緒におにぎりを作り、一緒に食べています。また、季節の野菜の栽培体験を園庭で行っています。子ども達は、日々の生長を眺めながら水やりをしています。



これまでの成果・課題

給食では、「赤・黄・緑」の食材を入れた献立を栄養士が考えています。子ども達に「赤の食材は何か」などの食べ物クイズを出すと、ほとんどの子が答えられます。家庭でも園児から保護者へ、3つの栄養素（赤・黄・緑）のことが伝えられており、月2回の「お弁当の日」は、保護者の方もこの「3つの栄養素（赤・黄・緑）」を意識して作っているようです。

調理する保護者の意識が変わることで食事が変わってきます。食事が変わることにより、子どもの体が丈夫になってくるという「良いサイクル」が必要だと感じています。

今後の構想

昨年度の“おにぎりパーティー”では、普段あまり話をしない子どもも高校生と楽しそうに話をしており、食べることは年齢差という枠を超えて楽しむことができていると感じています。

食育の取組は継続することが大切で、現在の活動をこれからも続けて行き、食育について、さらに研究したいと思っています。

おにぎりパーティーの様子（平成23年11月4日）



今日は、琴平高校の生徒さん達（28名）と園児達（19名）による交流会“おにぎりパーティー”です。



はじめに、「食育」の話

園庭では、だいこんや万葉（ひゃっか）などが栽培されていました。



梅干しのおにぎり
美味しいなあ☆



美味しそうでしょ？



高校生が作った梅干し



梅の木



みんなと一緒に食べました。

園長先生の思い



久保園長先生

「食育」とは親子でクッキングをすることだけでなく、幼児期から規則正しい食生活を身につけ、自分で自分の健康を考えて食べ物を選ぶなど健康で元気に過ごせるようになる力を「食育」と考えています。例えば、梅干しが嫌いな子に、体に良いものなので、食べられるように援助しています。園児も少しでも食べることができると達成感があり、次のステップに挑戦することができます。こういう力を「食」を通して育てたいと思っています。